

令和7年夏期文部科学省におけるキャリア実習及びインターンシップ受入計画

指導担当者役職：総括係長、係員
氏名：中江彩、堀井元章

受入課室等名	研究開発局海洋地球課		
募集学校種	<input checked="" type="checkbox"/> 大学院 <input checked="" type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 短期大学 <input type="checkbox"/> 高等専門学校 <input type="checkbox"/> 専門学校 <input type="checkbox"/> 高等専修学校 <input type="checkbox"/> 高等学校 <input type="checkbox"/> 中学校 <input type="checkbox"/> 問わない <small>(○がマークされている部分が希望学校種となります)</small>		
受入時期	8月18日(月)	～	9月19日(金)
受入期間	2週間		受入人数 <small>(受入時期内の合計受入数)</small> 1人
選考時の面接の実施予定	予定あり <input type="checkbox"/> 予定なし <input checked="" type="checkbox"/>		
受入条件	海洋科学について興味関心をお持ちの方やグローバルな視点での政策提案を体験してみたい方を歓迎いたします。なお、Word・Excel・PowerPointなど、パソコンの基本操作ができることが望ましいです(専門知識や技術は必要ありません)。□		
実習内容	参加いただいた実習生の方には、期間中、「今後の海洋科学技術はどうあるべきか」について、考えていただきます。 日本は四方を海に囲まれた海洋国家であり、私たちは海からたくさんの恵みを得ながら社会生活を営んでいますが、その一方で、海洋汚染や異常気象など、様々な課題にも直面しています。海洋の価値を最大化しながら、海が抱える現代的な課題に対応していくために、「科学技術」が貢献できることは何か、海洋地球課の職員等から直接話を聞いていただきながら、検討を深めていただきます。最終日には、海洋地球課職員に対して、文部科学省として今後取り組むべき方向性や対応について発表していただきます。忌憚のない、学生ならではの提案をお聞かせください！ <これまでの実習生の発表テーマ例> ○「カーボンニュートラル2050」に向けて「海洋研究」がいかに貢献し得るか ○我が国が「海洋資源」を確保するために必要な方策 ○「海洋研究者」育成プロジェクト 等 ○海洋プラスチック問題の現状と今後 ○北極海航路の活用による環境変動の評価 ○海洋生物ビッグデータ活用技術高度化の社会実装フェーズに向けた提言 ○北極域研究プロジェクトにおけるドローンの活用による増強 ○海洋プラスチック問題に対する今後の対策 ※海洋が専門でなくても、こうしたテーマで発表できるよう期間中しっかりサポートします！		
受入課室等紹介	海洋地球課では、海洋研究開発機構(JAMSTEC)のほか、国立極地研究所や大学、国外の研究機関、関係省庁等と連携しながら、海洋・極域分野における研究開発を推進するための業務に従事しています。研究機関や大学、他省庁の職員など、外部からの出向者が多く、人材の多様性に富んでいることも特徴です。これまでの参加者からも、文科省職員に限らず、海や北極・南極に関わる様々な方々との交流を通じて、多くの学びを得たとの話を伺っています。		
受入課室等からの一言	「環境問題」に興味のある方、「海」「北極・南極」が好きな方、科学技術による社会課題への貢献に関心がある方など、幅広い方の参加を募集しています。ぜひご応募ください！		

令和7年夏期文部科学省におけるキャリア実習及びインターンシップ受入計画

指導担当者役職：係長

氏名：中野 孝一

受入課室等名	研究開発局宇宙開発利用課		
募集学校種	<input checked="" type="checkbox"/> 大学院 <input checked="" type="checkbox"/> 大学 <input checked="" type="checkbox"/> 短期大学 <input checked="" type="checkbox"/> 高等専門学校 <input type="checkbox"/> 専門学校 <input type="checkbox"/> 高等専修学校 <input type="checkbox"/> 高等学校 <input type="checkbox"/> 中学校 <input type="checkbox"/> 問わない <small>(○がマークされている部分が希望学校種となります)</small>		
受入時期	8月18日(月)	～	8月29日(金)
受入期間	1週間 ～ 2週間		受入人数 <small>(受入時期内の合計受入数)</small> 1人
選考時の面接の実施予定	予定あり <input type="checkbox"/> 予定なし <input checked="" type="checkbox"/>		
受入条件	最終報告資料作成のため、Word、Excel、PowerPointを使用できること。		
実習内容	・インターネットや各種資料、課内・課外関係者へのヒアリング等を踏まえて、我が国の宇宙開発利用に係る現状把握、課題抽出、解決に向けた対策検討、制約条件等を整理し、政策提言をとりまとめる。 ・(実施未定)JAXAの関係施設の視察を行う。 ※より具体的な実施内容については、受け入れ決定後に本人の関心事項を踏まえて検討予定。		
受入課室等紹介	宇宙開発利用課では、基幹ロケット開発・高度化をはじめとした輸送分野、地球観測や衛星技術実証をはじめとした衛星分野、アルテミス計画やISS日本実験棟「きぼう」の運用をはじめとした有人宇宙分野、月探査や深宇宙探査をはじめとした宇宙科学・探査分野、電動ハイブリット推進システムをはじめとした航空分野など、宇宙・航空分野においてJAXAが行う研究開発を幅広く推進している。また、宇宙戦略基金の運用なども含め、JAXAを結節点として、産学官による宇宙活動を加速するための取組も実施しながら、宇宙活動の裾野拡大や産学官によるエコシステム形成にも取り組んでいる。		
受入課室等からの一言	意欲のある積極的な方の参加をお待ちしております。		

令和7年夏期文部科学省におけるキャリア実習及びインターンシップ受入計画

指導担当者役職：係員
氏名：萩原拓永

受入課室等名	研究開発局 原子力課		
募集学校種	<input type="checkbox"/> 大学院 <input type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 短期大学 <input type="checkbox"/> 高等専門学校 <input type="checkbox"/> 専門学校 <input type="checkbox"/> 高等専修学校 <input type="checkbox"/> 高等学校 <input type="checkbox"/> 中学校 <input checked="" type="checkbox"/> 問わない <small>(○がマークされている部分が希望学校種となります)</small>		
受入時期	9月8日(月)	～	9月19日(金)
受入期間	2週間		受入人数 <small>(受入時期内の合計受入数)</small> 1人
選考時の面接の実施予定	予定あり <input type="checkbox"/> 予定なし <input checked="" type="checkbox"/>		
受入条件	ワード、エクセル、パワーポイント等の基本的なパソコン操作ができること (専門的な知識や技術は必要なし)		
実習内容	【原子力課における行政実務の経験】 ・原子力科学技術に関する政策の企画・立案 ・基礎資料の作成、データ収集、集計及び分析 等		
受入課室等紹介	原子力課では、国として重要な原子力科学技術に関する施策を体系的かつ総合的に推進・展開しています！ ○新たな試験研究炉の開発・整備の推進 ○次世代革新炉の開発に資する技術基盤等の整備・強化 ○放射性廃棄物の処理処分と原子力施設の廃止措置へ対応 ○原子力科学技術に関する研究・人材基盤の強化 ○東京電力福島第一原子力発電所事故への対応		
受入課室等からの一言	原子力科学技術は、原子力発電をはじめとするエネルギー利用のみならず、放射線治療や、材料分析・構造解析、新素材等の開発など、幅広い領域における研究・産業への応用・展開も期待されています。 原子力分野を通してOJTで政策の企画・立案業務を経験されたい方の御応募を心よりお待ちしております！ □		

令和7年夏期文部科学省におけるキャリア実習及びインターンシップ受入計画

指導担当者役職：総括係員

氏名：伊藤遼吾、井原渉、河野正英

受入課室等名	研究開発局原子力損害賠償対策室		
募集学校種	<input type="checkbox"/> 大学院 <input type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 短期大学 <input type="checkbox"/> 高等専門学校 <input type="checkbox"/> 専門学校 <input type="checkbox"/> 高等専修学校 <input type="checkbox"/> 高等学校 <input type="checkbox"/> 中学校 <input checked="" type="checkbox"/> 問わない <small>(○がマークされている部分が希望学校種となります)</small>		
受入時期	7月28日(月)	～	8月8日(金)
受入期間	週間 ～ 週間		受入人数 <small>(受入時期内の合計受入数)</small> 1人
選考時の面接の実施予定	予定あり <input type="checkbox"/> 予定なし <input checked="" type="checkbox"/>		
受入条件	文部科学省の業務を体験してみたい方を歓迎しています。ワード、エクセル、パワーポイント等の基本的なパソコン操作ができることが望ましいです。 (専門的な知識や技術は必要なし)		
実習内容	<p>【原子力損害賠償対策室の行政実務の経験】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原子力損害賠償対策室内 各班の業務体験 ・基礎資料の作成、データ修正、集計及び分析 ・審査会の準備、運営補助 ・関連施設の見学 等 業務の状況によって変動する可能性はありますが、その他、参加者の方の希望を考慮して計画いたします。 興味・関心がある業務や分野がございましたら、志望業務欄にご記入ください。		
受入課室等紹介	原子力損害賠償対策室では、平成23年3月11日に発生した東日本大震災に伴う東京電力福島第一・第二原子力発電所事故に係る原子力損害の賠償に関する業務を行っています。 【主な業務内容】 <ul style="list-style-type: none"> ○原子力損害に関する法律の運用に関する業務 ○原子力損害賠償紛争審査会に関する業務 ○原子力損害賠償の未請求者に対する早期請求を促す広報業務 ○原子力損害賠償・廃炉等支援機構法に基づく許認可等の対応 ○原子力損害賠償紛争解決センターに関する業務 等 		
受入課室等からの一言	専門的な知識や技術は必要ありません。原子力損害賠償対策室の業務に関心がある方はもちろん、行政、国家公務員の仕事に興味のある方の応募も大歓迎です。意欲のある積極的な方の参加をお待ちしております！		